

「竹上妙の絵本と木版画 たけがみZOO展
～いきものと目が合った!～」の実施報告について

- 1 開催期間 2022年7月23日(土)から9月25日(日)
- 2 開催場所 町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数 10,030人/55日間(1日平均:182.5人)
- 4 特別協力 竹上版画事務所
- 5 協力 あかね書房、アリス館、絵本館、好学社、玉川大学出版部、チャイルド本社、ひさかたチャイルド、童心社、福音館書店、ポプラ社、理論社、日本児童図書出版協会、けもの塾
- 6 後援 和光大学表現学部 総合文化学科・芸術学科

7 開催報告

就学前の児童とその保護者を主たるターゲットとした本展では、文字を習得する以前の子ども達にも展覧会を楽しんでもらえることを目指し、絵本の世界を体感できる空間を作り上げました。

竹上氏の描き下ろしによる「くじら」「きりん」「チーター」など動物たちを配した「たけがみZOO」のコーナーを設けたほか、竹上氏による木版画の公開制作などを行い、絵本や版画の世界を体験していただけるようにしました。また、鑑賞ガイドを配布し、竹上氏自身や絵本の仕事、「彫り進み木版」という技法について、より深く理解を深めていただけるよう工夫を凝らしました。

この様に、「鑑賞」より「体験・体感」を求める最近の来場者傾向を重んじた結果、夏の展覧会としては2018年の館野鴻展以来4年ぶりに1万人を超える入場者を記録しました。

(1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数
7月27日	自然観察会（薬師池公園）	8人
8月7日	ワークショップ「ダンボール動物園を作ろう」 午前：就学前児童と保護者 午後：小学生	(午前) 11組22人 (午後) 11人
8月24日	ワークショップ「いきものうちわを作ろう」	9人
8月28日	今泉忠明講演会「教えて！今泉せんせい。“どんねん”だけどやっぱりイケてる「いきもの」の話」	55人
8月20日	たけがみZOOの出張おはなし会 at せりがや	50人
9月23日	親子で楽しむ「たけがみZOO」 絵本読み聞かせとおはなし	42人
8月13日	木版画公開制作	82人
8月14日	木版画公開制作	303人
9月19日	木版画公開制作	251人
9月23日	展示解説	108人

(2) 資料

- ・ポスター用オリジナル木版画
- ・絵本制作のためのラフ原稿
- ・絵本原画、下絵
- ・卒業制作、一枚刷り木版画作品
- ・愛用品、愛読書 ほか 約200点

(3) パブリシティ

- ・「こどもの本」2022年8月号
- ・「MOE」2022年9月号（MOEニュース）、同10月号（展覧会案内）
- ・「神奈川新聞」8/26 ミュージアム・ナビ
- ・「朝日新聞」9/6 art彩る
- ・「読売新聞」9/9 展覧会紹介
- ・「絵本ナビ」「好学社」「童心社」ほか絵本出版社サイト

ほか

(4) 来館者アンケート

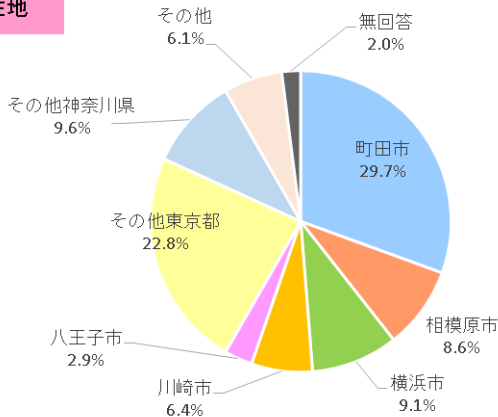
本展の特徴として、市内からの来場者が全体の29%に止まったのに対し、東京都及び近隣市域（相模原市、横浜市、川崎市、八王子市）からの来場が約50%に及び、市外からの来場が多い傾向を示した。年代別では50代が最も多く、次いで40代、60代、30代と想定していた年代層よりも高い傾向を示した一方、10代が32%、10代未満が25%と若年層が積極的にアンケート回答に応じたことには手応えを感じた。

また、ポスター・ちらしに採用した竹上氏によるオリジナルの「チャーター」の図柄のインパクトとカラフルな色遣いに反応を示した子ども達が多かった。男女比では女性が76%と圧倒的に多く、アンケート回答者の約98%の方から満足の評価を得た。

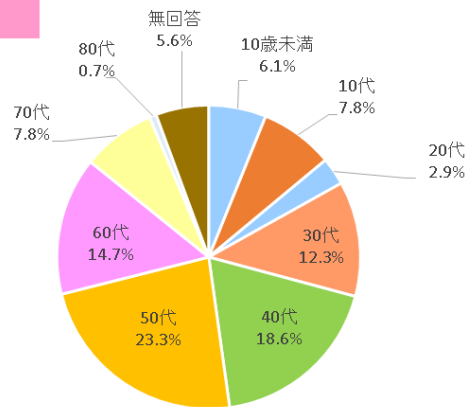
来場者からは「ダンボールの立体迫力のある原画。カラフルかつリアリティーのある生き物の数々に鑑賞を乗り越えて体験を感じた」、「すずしい動物園と水族館にいっぺんに来られたみたい」、「空間全体を使った展示で、ワクワクした!」、「迫力満点です」、「エネルギーを感じた」、「もうとにかく楽しかった!」との好意的な感想が数多く寄せられた。

アンケート集計より

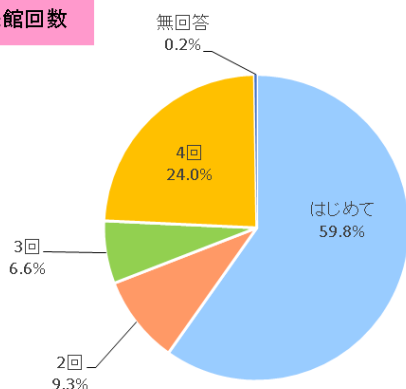
居住地



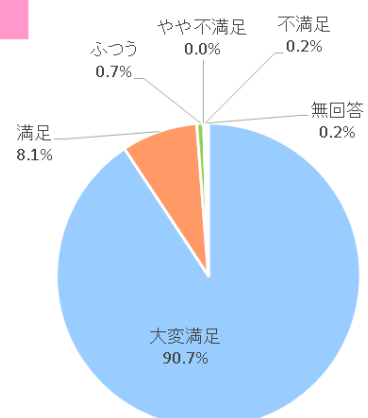
年代



来館回数



企画展の満足度



展示会場風景



展示会場入口



「たけがみZOO」展

「くじらの泳ぐ海の中」(右)と「きりんの親子」(下)

